

横田基地所属CV-22オスプレイの飛行再開について（要請）

令和6年3月13日、北関東防衛局から「陸上自衛隊及び日本国内の米軍オスプレイは、3月14日以降、準備が整ったものから順次飛行を開始する」旨、情報提供があった。

これに対し、横田基地周辺市町基地対策連絡会では、令和6年3月15日付で、「当該事故の経緯とより詳細な事故原因を早急に明らかにするとともに、安全対策、再発防止策の徹底と事故防止に万全の措置を講じ、これらに関する情報を速やかに関係自治体へ提供すること」を要請した。

こうした中、令和6年7月2日、北関東防衛局から「横田基地において、午前11時00分頃にCV-22オスプレイ1機が離陸した。横田基地周辺を旋回後、午前11時15分頃に着陸した」旨、情報提供があった。

令和5年11月の墜落事故に係る事故調査が継続中かつ、より詳細な事故原因や安全対策、再発防止策の情報が十分提供されていない中にあって、事前の通告もなく飛行を再開したことは、基地周辺住民の不安を更に高めるものであり、誠に遺憾である。

ついては、以下のとおり要請する。

- 1 安全対策、再発防止策の徹底と事故防止に万全の措置を講ずること。
- 2 当該事故の経緯とより詳細な事故原因を早急に明らかにすること。
- 3 1及び2に関する情報を速やかに関係自治体へ提供すること。
- 4 基地周辺住民の不安に対し、国の責任において、安全性が十分確保されていることなどについて、具体的かつ、丁寧な説明を行うこと。

（4については国にのみ要請）

令和6年7月3日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官
　　アンドリュー L. ラダン大佐 殿
防衛大臣
　　木原 稔 殿
北関東防衛局長
　　二又 知彦 殿

横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町長

立川市長	酒井 大史
昭島市長	臼井 伸介
福生市長	加藤 育男
武藏村山市長	山崎 泰大
羽村市長	橋本 弘山
瑞穂町長	杉浦 裕之
幹事	福生市長 加藤 育男